

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2020~2021年度 No.256

4 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ



強調月間：LT
RBM

今月の聖句

イエス・キリストこそ、私たちの罪、いや、私たちの罪ばかりではなく、全世界の罪を贖ういけにえです。

ヨハネの手紙(一) 2:2

4月第2例会(役員会)

日時：4月6日(火)午前11時20分 那須街道松林
駐車場に集合 それより移動

場所：那須町 タラゴン那須2 那須町高久乙湯道東2
725-59 Tel 0287(73)8774

内容：昼食をとりながら、5月例会等について相談をする。

4月第1例会(那須聖園老人ホーム訪問)

日時：4月6日(火)午後1時~

場所：那須聖園老人ホーム 那須町寺子丙1498-2
Tel 0287(72)0809

内容：那須聖園老人ホーム タオル等を持って訪問し、
薄井施設長様より、現況等のお話を聞く。

2020~2021年度 主題

国際会長：(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

アジア太平洋地域会長：(AP) David Lua(台湾)

「変化をもたらそう」

東日本区理事：(RD) 板村 哲也(東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう！」

北東部長：南澤 一右(仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

3月例会データ(出席率：80%)

在籍者 6名(内 功労会員1名) 例会出席者 2名
メーカーキャップ 2名

4月 Happy Birthday

なし

・5月第2例会(役員会)

日時：5月6日(木)午前10時00分から

場所：田村メン宅

・5月第1例会(植樹)

日時：5月22日(土)午前10時~

内容：那須街道松林にて、植樹を行う

場所：那須街道松林駐車場に集合、その後、植樹場所に
移動

巻 頭 言

藤生 強

ブリテン1 1月号巻頭言にて私の勤務するYMCA特養マイホームきよはらの状況を報告しましたが、半年たった現在の様子をお伝えします。今回は第3弾となります。

正月に3件の新型コロナウイルス感染事例が発生しました。1件目は、特養のパート職員が感染し、その職員が関わった特養ユニットの入居者・職員などが保健所の指導の下、1月2日にPCR検査を行いました。結果は全員が陰性でした。

2件目は、1月初めにデイサービス利用者の家族が感染し、デイ利用者も濃厚接触者としてPCR検査（*結果は陰性）を行いました。

3件目は、1月初めにデイサービス利用者が利用した介護タクシー運転手が感染し、デイ利用者も濃厚接触者としてPCR検査（*結果は陰性）を行いました。

尚、2件目と3件目は同日に判明したため、該当のデイ利用者2名が感染していた場合に備え、デイサービスを3日間休止にしました。幸い3件とも施設内にウイルスが持ち込まれなかったため、とりあえずは大事には至りませんでした。

限りなくウイルスの侵入を防ぐため、訪問者の対応や納品の受け渡しなどは引き続き玄関で行い、不要な入館は避けています。ですが今回の様に職員やデイサービス利用者から感染する可能性を0（ゼロ）にすることはほぼ無理です。同居家族が会社へ行ったり、学校へ行ったり、スーパーへ買い物に行ったり、どこで感染してもおかしくありません。YMCAに関わる一人ひとりだけでなくその家族など周辺の方々にも協力を頂きながら、みんなで感染予防を心掛けるしかありません。少しでも早く、終息する様、祈るばかりです。



3月第1例会（揚がれ！希望の風2021）

日時：3月6日（土）午後1時～

場所：大田原市ふれあいの丘公園芝生広場

参加者：河野、藤生、の各メンバー。

ゲスト：平山主事、リーダー3名）、サタデークラブのメンバーと保護者、他。

3月例会は、那須YMCAと協働で、東日本大震災復興を願う「揚がれ！希望の風2021（那須会場）」を行いました。

2月中旬まで栃木県へ新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されていたこともあり、昨年の「揚がれ！希望の風2020」に続いて中止かと危ぶまれましたが、感染対策を取りながら、何とか2年ぶりの開催をすることが出来ました。

そのため一般への開催案内は出来ず、那須YMCAがプログラムを担う西那須野幼稚園「サタデークラブ」参加者への案内だけとなりました。

当日は快晴で過ごしやすく、会場の大田原市ふれあいの丘芝生広場は風が舞っていましたが、屋外で楽しむには十分な気候でした。

ボランティアリーダー3名と会場準備を行い、午前中に凧作りをしたサタデークラブの子供たちが幼稚園バス2台で会場へ駆け付けるのを待って、イベントはスタートしました。

子供たちは舞っている風に苦戦をしていましたが、芝生広場を走り回って凧を揚げていました。疲れると仲間と遊んだり、広場周辺を散策したりまた凧揚げをしたり、を繰り返しながら楽しみました。午後2時46分にみんなで黙とうを行い、イベントは終了しました。

震災から10年経ちましたが、震災後に産まれた子供たちや当時まだ幼かったボランティアリーダーたちへ「震災の記憶」を引き継いでいくために、「揚がれ！希望の風」は続けていきたいと願います。

4月第2例会（役員会）報告

日時：4月6日（火）午前11時30分～

場所：パイの店（タラゴン那須2）

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、協議事項

1. 5月例会について

山浦指導官との話の感触であれば、5月の植樹例会は、5月の中下旬であれば行えそうである。但し、新型コロナウイルスが落ち着いていれば。日程については、会長が4月中旬に指導官と電話確認を行う。

その結果、4月28日に山浦指導官とお会いし、

5月22日（土）午前10時に那須街道松林駐車場に集合。その後植樹場所に移動。コロナ対策として、植樹後のクラフトは取りやめとする。

十分なコロナウイルス対策をとることが必要。

2. 塩谷キャンプ場について

とちぎYMCAの鷹簀理事長と河野会長が数回電話相談をされ、とちぎYMCAとしては、コロナウイルスのこととがあり、すぐにどうこうすることができないので、数年このまま凍結をしたいとの申し出があり、那須ワイズとしては、了承した。但し、下草刈りだけは、毎年やってほしい。

3. 5月役員会（第2例会）について

5月6日（木）午前10時から、田村ワイズ宅にて開催する。

4. 7月からの担当主事の件を確認。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第96回）

田村修也

前社長の印南文作さんが世中に、意向の定まっていたものは、矢板社長はこれを忠実に実施に移していきました。

観象台（現在のハウライ殖産千本松農場入口）以北の1200余町歩（約1100余ha）の山林保護育成のために設置された植林事務所の所長として品川貞次郎さんが就任しました。明治26年（1893）4月には、この土地も株主松方正義さんに16000円で売却となり、この売上金は株主に配分されました。こうして任務を終わった植林事務所はこれ以降廃止されることになりました。

那須開墾社自体の整理業務が進行する一面、明治14年から19年にわたっての移住世帯数は199戸に達しました。きびしい自然条件のもと極端に苦しい生活でした。

明治20年（1887）3月、大田原戸長神田但貞さんから子弟の就学督促を受けましたが、移住者は貧困の理由で「就学猶予願」を提出するほどでした。翌21年（1888）3月には、移住者一同が連署して「戸数割免除願」を行うなどして貧しい生活の防衛に懸命でした。毎年秋に旧西那須野町那須野が原ホールで開演される、教育児童演劇団櫟林座を中心に公募出演者による「那須野の大地」は、困難のなか開拓に挑戦していった入植者の姿をよみがえらせています。

明治22年（1889）4月に市制、町村制が交付されたのを受けて、6月に那須開墾社内に那須野村役場を開庁して、村名を「那須野村」としましたが、

蛇尾川を挟んで北側の隣村が東那須野村となったため、その後、「西」の一字を加えて「西那須野村」と改めました。

次々と増加していく移住民の子弟の教育が当面の課題になりました。かねてから教育に関心の深かった矢板 武さんは、明治21年に自費でもって那須開墾社第二農場事務所に近い三区と四区の間にある雲照寺と、第一農場に近い一区と二区の間にある二つ室正浄寺説教場に学校を開き、遅の沢（大田原藩旧村で現国際医療福祉大学の南側、旧金丸飛行場南側）の八木沢真七父子を教師に招いて教育に力を注ぎました。那須開墾社におきましては、既に明治16年頃から農夫見習いなどに対して読書を奨めるなどして、常に学習に対して意を用いて来ました。

那須開墾社の事業は全般にわたって、創業の後を受けて、その成立してきた事業を守る方針によって運営されましたが、それだけではなく、住民生活の基盤の確立と地域内道路の整備（このことについては、旧西那須野町にお出で頂ければすぐわかりますように、明治新時代にはいつの開拓地ならではの計画的な道路網の設計のもとに建設整備がなされ、那須開墾社の開拓のメインロードとなる一区から四区を南北に結ぶ通称縦道は、10、6kmの直線道路であり、これを背骨として、東西に幹線道路が、それを結ぶ支線道路が設けられています。ですから、方向さえ見間違えなければ、目的地に行くのは決して難しくはないところです。

那須開墾社とほぼ堂時期に開拓に着手された三島通庸を中心とする肇耕社（後三島開墾）は、三島通庸が土木県令として赴任した各県で今に残る数々の建設事業を行ってきたように、三島開墾に於いては開墾の基盤となる幹線道路を条里制により開設し、今でも三島地区は基盤の目と呼ばれています。北海道の規模には及びませんが国土地理院の5万分の地形図でははっきりとわかります。同じ県内の旧日光地区から転勤してきた同僚が、「田村君、西那須野の道は真っ直ぐなんだね、びっくりしちゃったよ。実家の方じゃ、真っ直ぐな道なんか見られないよ」と話してくれたことが忘れられません。その他、移住者の精神的な拠り所としての神社、雲照寺や光尊寺等々仏閣への土地寄進による招致、学校建設等々社会的な施設の充実には、極めて大きな貢献がなされています。（以下次号に続く）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

新型コロナウイルスに感染されて病床にある方のご回復、医療・介護関係者、そして、感染対策のために労されている方々に感謝し、ご健康を祈ります。また、罹患による差別がない事も祈ります。

ご入園・ご進級おめでとうございます。

園庭の桜は葉桜になりましたが、更生保護女性の会、西那須野支部の方と年中組の子ども達が、昨年度に植えたチューリップは、色とりどりの花を咲かせています。コロナ禍は続いています、新入・進級の子ども達をお迎えすることができて、スタッフ一同大変嬉しく思います。私たちはお子様と会えることを心待ちに準備して参りました。今年度も宜しくお願いいたします。

新入園児の保護者の皆様、ご入園おめでとうございます。本園では、ここ二十数年間入園式を行っておりません。というのは幼稚園に初めて来る子ども達にとって学校と同じような式はあまり意味が無く、苦痛でさえあるかもしれません。それよりも、新しい友達や担任教師との出会い、教室、下足入れなどの環境との出会い、次の日に楽しい期待をもてることが大切だからです。今年も密を避けるために昨年同様に3部制の入園を祝う会を行うことになりました。

また、保護者の皆様には、数ある保育施設のなかで、本園を選んで頂いたことに感謝し、こども達、保護者の皆様の期待に応えられるよう、職員一同努力します。

さて、自然ばかりでなく、地域社会も崩壊し、コロナ禍も加わり、子育て家庭にとって、大変な環境であります。そのような環境だからこそ、子ども達の健やかな成長のために、大人達が英知を出し合い、協力し合うことが大切です。お困り事があれば、担任でも、何でも相談の原明子保健師、法的なことであればスクール・ロイヤー粟谷しのぶ弁護士もおりますので、遠慮無くご相談下さい。

本園では、2000年から「トトロ・プロジェクト」と名付けて、子どもが各世代・組織の接着剂的な役割を果たしながら、持続可能な地域を目指し、幼稚園が地域を再構築する働きの一部を担えたら良いと考えています。那須YMCAからもサタデークラブなどのご協力をいただいております。コロナ禍

により、現在は地域との関係は制約のある状況ですが、認定こども園西那須野幼稚園として、全ての子ども達の最善と子育て支援をさらに深めていく考えです。

子ども達は、未来から預かった宝です。

那須聖園老人ホームたより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ
聖園那須老人ホーム
施設長 薄井 高宏

桜の花も散り、水仙や鈴蘭の花が咲き誇る今日この頃、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

先日、聖園那須老人ホームにて、河野会長様をはじめ、田村副会長様、村田副会長様にご来援頂き、本当にたくさんのタオルの御寄附を頂きました。皆様の暖かいご支援に心より御礼申し上げます。このタオルは施設内の様々な場面で活躍し、特に衛生面に役立たせて頂いております。また、袋から出す、たたむ、切る、まとめるの行程を、入所者の方々とお茶飲み話しをしながら行っております。入所者の方々も様々な障害や病気をお持ちですが、仕事がある、役割がある、自分の居場所がある、自分の存在意義があると前向きに過ごすきっかけになっています。共働という言葉がありますが、共に働ける喜びは、何にもまして、共感とお互いの信頼を育てる糧となっています。

皆様の暖かいご支援に支えられ、聖園那須老人ホームは現在も成り立っているという事を改めて、実感する事ができました。今後も変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

YMCAだより

【千葉YMCA・とちぎYMCA・ぐんまYMCA バーチャリティーラン報告】

このたびは、千葉YMCA・とちぎYMCA・ぐんまYMCAの共同開催によりますバーチャリティーラン（インターナショナル・チャリティーラン）に多大なるお力添えをいただきまして、誠にありがとうございました。「はなれていても、つながっている」温かさをお一人お一人に感じていただければと思いを込めましたオンライン大会でしたが、バーチャル開催『スピードの部』、『距離の部』、そして『誰でもチャレンジの部』に309名もの方々にご参加いただきました。お預かりいたしましたご寄付1,070,233円は、特に障がいを持ちながらも人生にチャレンジをする子どもたちのための三つのYMCAの各活動に役立たせていただきます。

YMCAはすべての方々の笑顔のために精一杯努力する所存でございますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



【「揚がれ希望の凧！2021」那須会場 開催いたしました！】

東日本大震災から10年、昨年はコロナの影響で中止となりましたが今年は従来よりも規模を縮小し、感染対策を十分に行いながら「震災を語り継いでいく」「被災地の方々の思い、共に考える」ことを願って、3月6日（土）にふれあいの丘において「揚がれ希望の凧！2021」を開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、サタデークラブや一般の方も参加し凧揚げを楽しんでいました。震災や被災地のことを胸に抱きながら色とりどりの希望の凧を飛ばすことが出来ました。また、栃木県内では那須・宇都宮の2会場で行われました。那須ワイズより河野会長、藤生担当主事が参加しました。

【ユースボランティアリーダー送る会】

新しいステップに進むリーダーたちに感謝を込めて。宇都宮・那須・トライ東で活動したリーダー18名と高校生ボランティアグループ

「つぼみ」で活動したリーダー21名を送り出しました。様々なゲームや今までの思い出をスライドショーで振り返ったりと、とても記憶に残る素敵な時間になりました。

那須YMCAからはみるき、のんちゃん、さくら、もっちゃん、さわー、とと、ぽわの6名のリーダーがユースリーダーを卒業していきました。新しいステージでのご活躍を心から期待しています。



【とちぎYMCA・那須YMCAの4月の予定】

- ・ 4/1 (木) とちぎYMCA職員就業礼拝@宇都宮市青少年活動センター (トライ東)
- ・ 4/3 (土) とちぎYMCA職員歓送迎会@さくらんぼ幼稚園体育館中止
- ・ 那須YMCA 英語クラス: 4/8 (木) より新年度開始予定
- ・ 西那須野幼稚園運動あそび: 4/15 (木) より新年度開始予定
- ・ 西那須野幼稚園英語あそび: 4/16 (金) より新年度開始予定
- ・ 西那須野幼稚園サタデークラブ: 4/17 (土) 新年度開始
- ・ 4/17 (土) サタデークラブ@長峰公園 ネイチャーハイク
- ・ 4/24 (土) サタデークラブ@長峰公園 ネイチャーハイク

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前 (リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

今月はお休みです。

編集後記

ブリテン発行が、5月に入ってしまっていて、申し訳ありません。皆さんからいただいた原稿に新鮮さがありません。猛反省です。

4月例会が早く終わってしまったために、5月の予定を入れることにしようと思ったのが間違いでした。

5月例会は、1面に記載の通り、那須街道の赤松林での植樹例会となります。皆様のご参加をお願いします。傷害保険に入る都合がありますので、早い目に連絡をください。よろしくお願いします。

コロナウイルスの影響で、リーダーの方々がどのように過ごしておられるのかを心配しております。